

日本登山医学会認定山岳医検定講習会
及び
UIAA/IKAR/ISMM 認定国際山岳医検定講習会
2015年度八ヶ岳クラスタの案内

主催：日本登山医学会認定山岳医委員会

期日：2016年1月16日（土）～18日（月）

場所：南八ヶ岳山域・赤岳鉱泉、行者小屋泊

対象：認定国内山岳医ならびに認定国際山岳医の資格取得希望者
(参加要件あり)

受講番号・氏名	
住所	
実習班・担当ガイド	班 ガイド
クラスタ責任者	師田信人 090-3455-4928
無線周波数	業務無線 Ch()
赤岳鉱泉 行者小屋	赤岳鉱泉 090-4824-9986 行者小屋 090-4740-3808
茅野警察署	0266-82-0110（八ヶ岳稜線より西面を管轄）
佐久警察署	0267-68-0110（八ヶ岳稜線より東面を管轄）

<概要>

八ヶ岳クラスタは、厳冬期の八ヶ岳南部において寒冷環境における登山医学的問題・冬季登攀技術・アイスクライミング・積雪期救助技術などについて検定を行います。

各検定は、「認定山岳医は登山関係者に医学的助言を行い、状況に応じて山岳救助隊の指揮下に活動でき、万が一、隊から離れ単独で行動することになった場合においても安全に下山できること」という理念に基づいて行われます。

十分な体力と共に積雪期登山や登攀の経験を有すること・基本的なピッケルおよびアイゼンの使用法・手袋を装着してのロープワークや確保技術・雪崩に関する知識とビーコンおよびゾンデによる探索技術などをマスターしていること・積雪期登山の危険性や医学的問題を深く認識し、本クラスタ参加に際しその危険性や問題を自らが十分に受容していることが、参加の前提となります。八ヶ岳クラスタは実技検定であって講習ではありません。座学・事後課題(学科試験)はありますが、実技の講習会ではありません。上記した基本的登攀技術・探索技術はあらかじめ身につけていることが前提であり、その技術が認定山岳医に求められるレベルに達しているかどうかを判定することが八ヶ岳クラスタの主要目的になります。

<参加要件>

2011～2015 年度いずれかの立山クラスタに合格していることが最低限必要です。

日本登山医学会認定山岳医（いわゆる認定国内山岳医）コースの参加要件

立山クラスタを国内認定基準以上で修了していること。

積雪期登山に必要な体力・装備を有し、ピッケルやアイゼンを適切に使用して雪上歩行ができること。

講習会は1月16日のみですが、夜までかかるため要宿泊となり、解散が1月17日午前中となることを了承すること（夜間に下山しないこと）です。

認定国際山岳医コースの参加要件

立山クラスタを国際認定基準で修了していること。

積雪期登山に必要な体力・装備を有し、ピッケルやアイゼンを適切に使用して雪上歩行ができること。冬季登攀・アイスクライミングの初級ルートをフォロワーとして登攀できること。

今回の講習会を1月16日～1月18日の3日間連続して参加（行者小屋、赤岳鉱泉各1泊）できることが条件で、一部のみの参加はできません（過去の八ヶ岳クラスタで課題の一部が合格していても免除されません）。

ガイドとともに、赤岳鉱泉・行者小屋より奥に入山しますので、上記の基本的な体力、技術、装備に加え、冬季登攀やアイスクライミングに必要な身体能力、技術、装備を有していることが必要です。

- ※ 積雪期登山や登攀の経験が十分でない、あるいは技量に自信がない方の検定合格は困難であるばかりでなく、検定参加自体に危険を伴うことになります。このような方は事前に本人の責任の下、プロのガイド山行や各種講習会で登山技術を習得しておく必要があります。
- ※ 申し込み時に提出していただく山行履歴をもとに、積雪期登攀の経験が不十分と判断した場合には、実行委員会の判断で参加を遠慮していただくことがあります。あらかじめご了承ください。

<集合・宿泊・解散> (添付の地図を参照)

2016年1月16日(土)

集合 6:30 美濃戸口の八ヶ岳山荘 (これより先の車での進入は認めない。)
認定国内コース、国際コースとも全員
宿泊 認定国内コース、国際コースとも全員、行者小屋泊
クラスタ実行委員会で宿泊予約します

1月17日(日)

認定国内コースの参加者

7:00 行者小屋にて朝食後解散。

国内認定のみの参加者も16日夜は宿泊し、必ず17日朝に下山すること

認定国際コースの参加者

積雪期岩稜ルート登攀技術検定後、赤岳鉱泉に移動して宿泊
クラスタ実行委員会で宿泊予約します。

1月18日(月)

認定国際コースの参加者のみ

14:00 赤岳鉱泉にて解散、

<講習・検定の課題>

1月16日(土)

認定国内コース、国際コースとも全員

6:30～9:30 体力検定：美濃戸口から南沢経由行者小屋へ移動
10:00～12:30 凍傷・低体温症・雪崩：座学
13:00～17:00 凍傷・低体温症・雪崩 屋外でワークショップ
19:00～21:00 凍傷・低体温症・雪崩：座学追加

16 日朝 6 時美濃戸口ハヶ岳山荘に全員集合します。集合後、美濃戸口から行者小屋までの移動は、体力検定を兼ねています。（想定としては、行者小屋付近にて遭難事故が発生、山岳救助隊に同行し遭難現場に急行するという状況です。）必要以上に急ぐ必要はありませんが、**制限時間内（3 時間以内）に到着することは合格には必要条件**です。従いまして、クラスタ前日は十分な睡眠・体調管理が出来るように、各自移動予定を調整いただきますようお願いいたします。特に遠方からお越しの方は、15 日夜はゆっくり体を休めることのできるようによつては茅野駅あるいは美濃戸口周辺の宿泊施設を利用するなど、余裕ある日程をご検討ください。

1 月 17 日（日）

認定国内コースは朝食後解散、全員で下山

認定国際コースは積雪期岩稜ルートへ入山

（山行ルートについては当日の天候などを考慮して決定します）

7:00～16:00 各班でリーダーを決め冬季登山検定

下山後赤岳鉱泉に移動・宿泊 夕食後 質疑応答、反省会など行います。

1 月 18 日（月）

認定国際コースは氷瀑登攀ルートへ入山

7:00～14:00 アイスクライミング

検定終了後、赤岳鉱泉で閉会式後、各個で下山

補足事項

- ①期間中に、積雪期登山に必要なウェアや装備、体力をチェックする。
- ②筆記試験（クラスタ後の事後課題）について 2016 年 2 月中に、電子メールで出題します。ハヶ岳クラスタ実行委員会からのメールを受信可能にしておくこと。
- ③クラスタ終了後は速やかに初日の集合地点（ハヶ岳山荘）まで下山すること。解散後に、そのまま近隣の山岳地帯に入山することは禁止する。
- ④初日から最終日までの全てが体力や登攀技術の検定対象となるので、登攀具などの荷物を事前に山荘に搬入する等は認めない。
- ⑤上記③④などに対する明瞭な違反行為や不正行為、もしくは山岳医として相

応しくないと判断される言動・行動については減点や不合格の対象となる。

- ⑥各宿泊施設の宿泊費については現地で徴収するので、各自つり銭の無いよう
にご用意ください。

＜合否判定＞

ハヶ岳クラスタでは、参加時点での知識・技量について評価し、上記概要に記した理念に基づいて以下の合格要件で判定しますので、事後課題のみ合格、実習のみ合格という判定はありません。下記の3つの判定のみです。

- (1) 不合格
- (2) 認定国内山岳医の基準で合格
- (3) 認定国際山岳医の基準で合格（認定国内の基準を包括）

もし(1)の場合、次回以降の検定講習会で全ての検定講習課題を再受講し、全ての事後課題も再提出することになります。

ただし、(2)の者が国際認定取得を希望する場合（国際認定コースに参加し不合格だったが、国内認定コース相当の基準では合格だった者も含む）、次回以降の国際認定コース受講の際、講習会には全日程で参加する必要があるものの、国内認定相当の事後課題は免除されます（受講費は減免されません）。

一方、国際認定コースの実技課題が合格していても、国内認定に相当する部分の事後課題が不合格の場合、これは(1)に相当しますので、次年度以降、実技も含め全日程で参加し全ての課題の再受講、及び、事後課題を含めて合格することが必要です（受講費は減免されません）。

※ 合格要件（2015年度）

上記（2）では以下のⅠかつⅡaを、（3）ではⅠかつⅡbを満たすこと。

- Ⅰ 本クラスタでは、山岳救助隊に医師が同行している状態を仮定して検定を進めます。各班に分かれて行動した場合、それまでの登山歴に係わらず班のメンバーを互いに敬い、常に適切な言動をとれること。
- Ⅱ a. 認定国内山岳医：積雪期登山に必要な体力、装備を有し、ピッケルやアイゼンを適切に使用し雪上歩行できること。低体温症・凍傷・雪崩の講習に参加し、これら全ての検定に合格し、かつ、全ての事後課題に合格すること。
- Ⅱ b. 認定国際山岳医：国内認定の基準に加え、国際基準の雪崩・冬季登攀・アイスクライミングの技術検定に参加し、これら全てに合格し、かつ、全ての事後課題に合格すること。

※ 厳冬期の山中で技術検定を行いますので、ガイドも含めたスタッフの人員配置、事後課題の作成・評価などは通常の医学研修会とは全く異なる運営を要します。従って、合否判定や再受講の方法、事後課題や受講料の一部減免などについて、個別の対応はいたしかねますので、ご理解ご了承ください。

※ 合否判定の通知は、例年数ヶ月を要します。

※ 認定山岳医制度では、すべてのクラスタをエントリー時から5年以内に修了することとされています。

<注意事項>

本クラスタにおける技術検定は、主として認定山岳医の冬期登攀技能評価を目的としており、一般の登山教室やガイド山行の類ではありません。雪崩、滑落、凍傷などの冬季登攀に伴う様々な危険性を十分に承知納得された上で、自らの意思でご参加ください。

また、本クラスタの申込み時に、山岳保険（ピッケル・アイゼンを用いた雪山登山・岩登り・アイスクライミング、山スキーを行っている最中の事故にも対応）に加入していること（講習会当日に有効期限内であること）が必要条件となるので、再確認してください。

クラスタ責任者や主任ガイドが、講習や検定中に技術や体力、装備が不十分で危険であると判断した場合や、認定山岳医としてふさわしくない言動が見られる場合は、その時点で受講生の講習・検定を中止し、不合格とし下山していただくこともありえます。

<必要装備>

積雪期縦走、岩稜登攀、アイスクライミングに必要な装備

※ 必要な装備（雪崩ビーコン・アイスクライミング用アックスなど）は、各自で用意してください。ヘルメットなど登攀器具は、UIAA 認証（もしくは CE）マーク付きのもの（登山用品専門店で売っているもの）に限ります。装備一覧については、別途連絡いたします。雪崩ビーコンについては、搜索時間も評価対象となりますので、デジタル式マルチアンテナの最新のものをお勧めします。

※ 検定中は、出発地点から、赤岳鉱泉、硫黄岳、赤岳を含んだ磁北線入り地形図（1/25,000 図等）を用意すること。読図も検定対象となるので、検定時の GPS 使用は禁止です。

<UIAA/IKAR/ISMM 認定国際山岳医取得に際し求められる登山技術>

夏季：結び方とその使用法；ダブルフッシャーマン、エイトノット、プルージック、クロブヒッチ、ハーフクロブ（ムンター、イタリアン）ヒッチ、ハーネスへのロープの結び方；アンカーの作り方；確保；下降器およびプルージックを用いた懸垂下降；プルージックを用いた固定ロープの登行；UIAA 3 級の岩場のフォロアーとしての登攀；ヘリコプター避難のための着地場所の準備；地上から空中への手信号。

冬季：アイゼンを用いた氷河徒行と氷上歩行；雪と氷に適した様々な技術を用いた確保；簡単なアイスクライミング；単純なプリーシステムを用いた即興のクレバスレスキュー；トランシーバー（雪崩ビーコン）とプローブを用いた雪崩埋没者の搜索、埋没者の掘り出しと救助の準備。

上記を行いながらレスキュー隊と行動した際、足手まといとならない登山技術と体力を持った医師であること、または、隊と行動するには多少の面倒をみる必要があるとしても、遭難現場でその医師による医療が望ましい状況なら、隊が引率して同行させられる程度の登山技術を持った医師であること。

＜申込み方法と費用＞

申込み方法と参加可否の通知

2015 年 12 月 10 日（木）24 時までに、下記ファイルを添付のうえ、八ヶ岳クラスタ実行委員会へ参加申込みのメール（dimmm8-2015@jsmmed.org）を送信してください。書類不備や参加要件を満たさない場合、参加をお断りします。できるだけ 12 月中に参加の可否を通知します。

①参加申請書

②積雪期山行歴（直近 3 年間）

③山岳保険証書の写し（研修会当日に有効なもの）

参加費用（参加人数により変動します。宿泊費、施設使用料は含まれません。）

日本登山医学会認定国内山岳医コース

およそ 60,000 円～80,000 円前後の予定

認定国際山岳医コース

およそ 140,000 円～160,000 円前後の予定

※ 参加費には、宿泊費 9,000 円程度／泊、施設（人工氷壁）利用料 1,000 円程度／年が含まれません。参加者は宿泊費や施設使用費を現地で適宜徴収しますので、釣り銭の無いよう現金でお支払いください（各自小銭をご用意ください）。
※ 上記金額は単なる見込み額ですので、参加人数次第で見込み以上となることもあります（毎年、極力高額にならないように運営努力しており、余剰金が発生した場合には受講生に返却するなどの対処もしておりますが、ガイド協会によるガイドレシオ規定などもあり、夏期に比べ冬期は高額となります事をご理解ください）。

※ 昼食・行動食・非常食は各自で用意して下さい。

※ **重要**：参加費の振り込みは、参加確定の通知後にお願いします！営利事業ではないため、参加人数によって費用が変動します。必ず参加確定の通知を確認してください。また、申込み希望人数が予想以上に多い場合には、安全管理上、過去の受講歴・過去の山行歴などを参考にして実行委員会の判断で受講の可否を決定します。予めご了承ください。

振込

後日、参加確定通知をいたします。その際に、受講者数に応じて設定された参

加料金を、振込先とともにお伝えしますので、速やかに振込みをお願いいたします。参加確定通知後は、ガイドの手配の関係上、キャンセルできません。所定の受講料を必ずお納めください。

<2015 年度八ヶ岳クラスタ問い合わせ先>

八ヶ岳クラスタ実行委員 師田信人 dimm8-2015@jsmmed.org

(八ヶ岳クラスタにおける、運営側と受験生との情報伝達については主に電子メールを使用します。従いまして、クラスタ参加者は比較的大きな容量の添付物も常に受信できるようなメールアドレスをご登録いただきますようお願い致します。)